

科目名	演習 2							年度	2024
英語科目名	Seminar 2							学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1 年次		必／選	必	時間数	240	単位数	8	種別※
担当教員	中山、富田、志村、根岸、田村、森、保坂、上田		教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務	

【科目の目的】

自身が選択したコースの専門スキルを身に付けて、演出力、番組制作のプロセス、機材への知識、テクニックなどを深く学び、目指す職業理解を深めることが目的とする。

【科目の概要】

各コースやテーマ別に、実習を通して映像制作の基礎を習得します。

【到達目標】

自身が選択したコースの専門スキルを身につける。基本的な番組制作に関わる過程を理解する。番組制作の中で身につく、他のコースとのコミュニケーションの取り方や、基本的な番組制作の流れを理解する。

【授業の注意点】

キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ループリック

ループリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 要努力		
到達目標 A	情報番組制作のプロセスを良く理解し、自身の仕事に対して技術力を磨く努力ができている。	情報番組制作のプロセスをあまり理解していないが、自身の仕事に対して技術力を磨く努力ができている。	情報番組制作のプロセスが理解できず、自身の仕事に対して技術力を磨く努力もできていない。		
到達目標 B	作業に対して準備を怠らず、時間、期限をしっかりと守ることができる。勉強の成果を發揮しながら作業に取り組み、完成度の高いものを作業する姿勢がある。	作業に対して準備を怠らず、時間、期限をしっかりと守ることができるが、勉強の成果を発揮しながら作業に取り組んでいるが、完成度の高いものを追求する姿勢には及ばない。	作業に対して準備を怠って、時間、期限を守ることができない。勉強の成果を発揮することが困難で、完成度の高いものを追求する姿勢には及ばない。		
到達目標 C	番組制作を通じて各部署の業務や思考を理解し、職業への積極性がある。コミュニケーション力が優れている	番組制作を通じて各部署の業務や思考を理解しているが、職業への積極性があまりない。コミュニケーション力を活かしていない。	番組制作を通じて各部署の業務や思考が理解できず、職業への積極性があまりない。コミュニケーション力が劣っている。		

【教科書】

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		演習 2			年度	2024
英語表記		Seminar 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	コース実習	情報番組制作に向けての勉強	1 コース別実習	情報番組制作のプロセスを学び、各コースに於いて企画・制作力、技術力を磨く	3	
2						
3						
4	コース実習	情報番組制作に向けての勉強	1 コース別実習	情報番組制作のプロセスを学び、各コースに於いて企画・制作力、技術力を磨く	3	
5						
6						
7	番組制作	ポストプロダクション コース実習	1 番組撮影	番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する	3	
8						
9						
10	番組制作	ポストプロダクション コース実習	1 編集・MA	スタジオ収録に向けて映像を完成させる	3	
11			2 コース別実習	スタジオ収録に向けて各コースで練習、技術力の習得		
12						
13	番組制作	スタジオ収録	1 番組撮影	番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する	3	
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等